



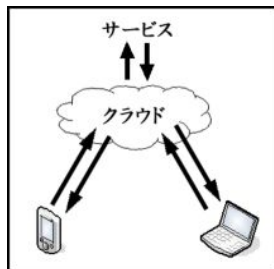
クラウド スマホ×クラウドで効率化

昨年はスマートフォンが一気にシェアを増やし、携帯電話において主流となりました。高性能・高性能なスマホは使いこなせないし…とと思っている方もまだ多いと思いますが、そういう方へこそ、スマホの利用をお勧めします。画面をタッチしての操作は直感的に使用でき、想像以上に簡単に使えることでしょう。従来の携帯電話も高性能ですがすべての機能を使い切ることにはなかったと思います。それならば、思い切ってスマホを使ってみてはどうでしょうか。

クラウドで仕事効率化

スマートフォンはクラウドとの親和性に優れています。いつでもどこでもインターネットに接続できることから、クラウドでスケジュール管理やToDo管理、ファイル共有を行い、スマートフォンで閲覧する、という使い方がとても便利です。また、GメールなどのWEBメールと組み合わせて使うのもとても有効です。

Evernote(メモアプリ)やDropBox(ファイル共有サービス)などはパソコン用ソフト、スマホ用アプリ、WEBブラウザ版とそれぞれ用意されています。状況により使い分けが可能で、端末を選ばずに利用することが出来るため、非常に便利です。



<クラウドのイメージ>

周辺機器も充実

スマートフォンを仕事で使う上で、少し不便に思うのがキーボードでしょう。画面に表示されるソフトウェアキーボードは、それなりに使用感がいいのですが、やはり長文を打ち込むのには向いていません。スマートフォンを閲覧専用にする使い方もありますが、文書作成にも使いたい場合もあると思います。そのような時は、Bluetoothという無線接続で使用する外付けのキーボードを検討するとよいでしょう。折りたたみ式や、丸めることが出来るシリコンキーボードなど、持ち運びにも便利なものや、その他様々な種類のものがあります。ご自身にあった周辺機器を選んで、ぜひともスマホを活用してください。

デジカメ カメラ女子のアイテム!

昨年、スマホとならんで注目を集めたアイテムとして、ミラーレス一眼レフカメラが挙げられます。一眼レフカメラから光学式ファインダーを省き、小型軽量のコンパクトサイズにした一眼レフカメラです。本格的にカメラを始めてみたいが一眼レフを買うには敷居が高いという方に受け入れられ、大ヒットとなりました。サイズも手頃で、“カメラ女子”の必須アイテムとなっています。

小型でコンパクト、ミラーレス一眼

AIT通信第42号(平成23年3月号)でもミラーレス一眼レフを取り上げましたが、その後、ニコンもミラーレス一眼レフ市場に参入しました。カメラメーカー各社が本格的に参入したことで、ミラーレス一眼レフが一つのジャンルとして確立した印象を受けます。

ミラーレス一眼は光学式ファインダーを省くことで小型軽量化されていて、気軽に携帯することができます。一眼レフと同様にレンズ交換ができるので、状況に合わせて本格的な撮影をすることが可能です。



<LUMIX GF2>

一眼レフカメラと比較して、オートフォーカスの速度が遅いとされていますが、あくまで一眼レフと比較してのことなので、実用上は問題ないでしょう。

レンズマウントはメーカーごとに

交換レンズはカメラメーカーごとに独自の規格を採用しています。その中で、パナソニック・ルミックスGシリーズとオリンパス・ペンシリーズは共通の規格を採用しています。一眼レフの醍醐味でもあるレンズの交換が可能という点は本格的にカメラを始めたい方にとっては大きな魅力となるでしょう。

機種	マウント規格
パナソニック・ルミックスGシリーズ オリンパス・ペンシリーズ	マイクロフォーサーズマウント
ソニー・α NEXシリーズ	Eマウント
ペンタックスQ	Qマウント

編集後記 新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災や東京電力福島第一原発の事故などたくさんのご事がありました。ボランティア活動や復興支援に尽力する方々の姿は感謝してもしきれないと思えました。支援の輪の広がりにはインターネットも活用されました。TwitterやfacebookなどのSNSで支援の呼びかけがたくさんなされました。IT技術が人と人の絆を強くしました。やはり技術をどう活用するかは人の心次第だとあらためて感じました。(本田)